



付託議案審査

議119 三原市白竜湖親水公園の指定管理者の指定について

【概要】三原市白竜湖親水公園における指定管理者を指定する。

【主な質疑】

問 令和4年度の収支状況を見ると赤字になっている。管理費と人件費が増額になっているが、その理由・対応はどうか。

答 収益力の増強を目的に、情報発信力強化のため新たな人材を採用したのが理由だが、今後の事業拡大のための先行投資と考えている。

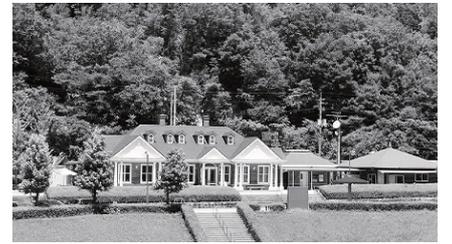
問 公募選定評価項目に、市への施設納付金の提案が追加されているが、その理由は何か。

答 指定管理の導入方針により、利益が出る事業を対象に、より高い納付率を提案する業者を評価するために設定した。納付額は年度協定で協議して決める。

問 公募選定結果表を見ると、地域経済・地域活性化への貢献の点数が他評価点より低いけどどのようない理由なのか。

答 地元の食材を使用したメ

ニューの提供など地域とのつながりを意識した取組は進められていますが、まだ十分とは言えないためである。



道の駅「よがんす白竜」

議120 和解をし、損害賠償の額を定めることについて

【概要】令和5年7月25日、港町三丁目で発生した建物物損事故に関する損害賠償額を定める。

【主な質疑】

問 事故を繰り返さないための対策は。

答 安全についての課内ミーティングで注意を呼び掛けている。また、業務発注者の立場では、KY活動も取り入れて、事故が起こらないようにしていきたい。

【採決】採決の結果、議第119号他1件は、全員一致、原案どおり可決した。

KY活動（危険予知活動）とは

職場に潜む、起こりうる労働災害を想定し、安全衛生を先取りしながら業務を進めること

議員全員協議会

11月20日開催

次期長期総合計画の策定について

【概要】現行の長期総合計画が令和6年度をもって終了するに当たり、7年度を初年度とする次期長期総合計画について、従来10年計画としていたものを、バックキャストイング手法を取り入れ、2050年のまち将来像を描いた26年計画とし、策定に向けた基本構想策定審議会の設置、市民アンケート、市民ワークショップ、副市長を委員長とする庁内検討委員会等により6年6月には基本構想を策定したいとする計画が示された。

【主な質疑】

問 有識者からのアドバイスを受ける体制となっているのか。

答 基本構想策定審議会の委員長として県立広島大学の和田 崇教授に識見や経験からアドバイスをいただいている。

問 産業交流の活性化がされるま

ちづくりとあるが、働き手が非常に減少する中、外国人労働力を含め、その対策や設定はどのようにされているか。

答 現在、市全体の基本構想策定作業を進めており、労働や産業等については6年度からの基本計画

策定作業の中で、多文化共生も考慮しながら具体的な検討を考えている。

問 2050年ビジョンの中に将来三原に住みたい気持ちやワクワク感が出る要素があり、バックキャストイング手法により10年間を定めるのが長期総合計画だと思っ

答 今回は基本構想策定を主に説明したが、ワークショップ等でも様々な意見を聞いており、現実を受け止めつつ、夢を織り交ぜながら構想に取り込んでいければと考えている。

バックキャストイング手法とは

未来のある時点で目標を設定しておき、そこから振り返って現在するべきことを考える方法。

